

皆さんは、地域の出来事や話題をどのようにキャッチしていますか。

暮らしに役立つ制度やイベントの情報はもちろん、まちの自然や文化、歴史、そして人々の温かいエピソードも、私たちに与っては大切な財産です。こうした情報を分かりやすくお届けし、皆さんと共有していくことが、市の大切な役割の一つだと考えています。

さて、最近、宇土市に関するニュースをテレビや新聞で目にする機会が増えたと感じませんか。

その背景には、うとハッシープロジェクトと位置付けた、市の魅力を発信する取り組みがあります。職員らが日々知恵と情熱を注ぎ、さまざまな情報を集め発信しています。

その一つが、「1日1件 報道機関への情報提供」と銘打った取り組みです。市内のあらゆる話題を、毎日1件を目標に新聞社やテレビ局などのマスメディアへプレスリリース（情報提供）をしています。

実際に、最近メディアで取り上げられた話題の多くは、日々のプレスリリースによるものです。報道後には問い合わせや観光客が増加したりと、様々な反響が寄せられ、この取り組みに手ごたえを感じているところです。

ただ、毎日のこととなると、ネタ集めがなかなか大変…(笑)。

そこで、市民の皆さんにご協力をお願いしたいことがあります。市では、報道機関へ提供する「ネタ」を募集しています。

例えば、地域のお祭りや子どもたちの活動、自然に関する話題、心温まるエピソードなど、小さな話題でも大歓迎です。

「これはニュースになるかも」「多くの人に知ってほしい」と思う情報があれば、ぜひお寄せください。皆さんからの情報が、宇土市

げん き 元樹だより

市長からのメッセージ

元松 茂樹

市長の部屋

◀こちらからも
ご覧いただけます



の新たな魅力の発信につながります。

情報は、誰かに伝わることで、人と人をつなぎ新たな感動を生み出します。そして、心揺さぶる情報は、皆さんの心に地域への新たな誇りや愛着を育てるきっかけになると信じています。

これから多様な手段を駆使し、丁寧な情報発信に努めてまいります。必要な情報がきちんと届き、地域への誇りが育まれるまちを目指して…。

今日も、一件のプレスリリースに思いを込めて、発信してまいります。

※【ネタのご提供について】

・お寄せいただいた情報は、市の担当部署で内容を確認したうえで、プレスリリースなどに活用させていただく場合があります。

・採用・不採用については個別にご連絡できかねますので、あらかじめご了承ください。

ネタの提供先:kounou01@city.uto.lg.jp
(広報プロモーション係)

香典返し

市社協に次の方々から寄附がありました。厚く御礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

▽走潟町	人見孝子	亡長男 正孝	(五八)
▽新開町	今村みず江	亡夫 康晴	(七三)
▽境目町	土井 裕	亡母 美代子	(九八)
▽住吉町	稲田 愛	亡父 孝幸	(九〇)
▽城塚町	宮本 学	亡父 劔	(九一)
▽笹原町	高木保昌	亡妻 みどり	(六九)
▽恵塚町	村上光子	亡夫 和基	(九二)
▽恵塚町	新樹秀一	亡母 貞子	(九五)
▽長浜町	舟田武弘	亡母 テル子	(九〇)
▽古保里町	小代涼一	亡母 實千代	(八五)
▽走潟町	湯野 正	亡母 マサ子	(九七)
▽走潟町	手嶋多計美	亡夫 智昭	(九〇)
▽入地町	牛島久美子	亡夫 友也	(九四)

市協へのご寄附は、確定申告などで、所得税法と地方税法の「寄附金控除」ができます。
(※6月10日受付分までを掲載)

編集後記

▽宇土の平和は…いや、情報は私を守る！5年ぶりに戻った広報係、毎日ひとネタ発信中。でも最近、ネタが底をつきそうです。あなたの身の回りの珍事件や感動秘話、おすそ分けください！(東)



▽今月は、うと歴史観光案内人の会の皆さんにおすすめスポットを紹介していただきました。それぞれのスポットの知らなかつた歴史やエピソードが聞けました。皆さん本当に詳しく、さらに宇土への愛があらわれていて、とても楽しい取材でした。(松)



▽この4月に入庁し、初めての広報紙づくりに日々奮闘中です。私自身は市外の出身ですが、宇土というまちには以前から親しみがあがり、妻の故郷ということもあって、いつの間にか身近な存在になっていました。まだまだ知らないことも多いですが、初めての目線を活かして新鮮な内容を広報を通してお伝えできればと思います！(古)



▽イラストと一緒に、たまたま勉強中なのが、肥後狂句です。「うと」を題材とした今月の一句がコチラ「広報紙 うとん魅力の話 まつとる」(鳥)

